栃木県　塩原温泉郷　　全長1.3kmのなだらかな、新緑から紅葉、そして滝と文学碑を愉しむ、とっておきの散歩道

大正浪漫街道 ファーストステージ

平成28年4月23日(土)～11月27日(日)

渓谷の川面にヤシオツツジが映えると塩原の春がはじまる。
まばゆい新緑の時を経て、やがて訪れる秋の紅葉まで、
季節の移ろいを色彩で愉しむ浪漫街道。
流れ落ちる滝の水音と文学の歴史に彩られた
清々しい自然の中、体全体がモミジに包まれ佇む。
とっておきの新緑から紅葉、そして滝と文学碑の散歩道、
「大正浪漫街道ファーストステージ」がはじまる。

大正浪漫街道

【凡例】 P…駐車場　…文学碑　…バス停　WC…トイレ　…ベンチ　…滝

お問い合せ
塩原温泉観光協会
☎0287-32-4000
http://www.siobara.or.jp/

塩原渓谷を彩るもみじ街道散策　「滝」と「文学碑」と「吊橋」巡り

文学碑巡り

■尾崎紅葉文学碑

俥を駆りて白羽坂を踰えてより、回顧橋に三十尺の飛瀑を踏みて、山中の景は始て奇なり。これより行きて道有れば、水有り、水有れば、必ず橋有り、全渓にして三十橋、山有れば巌有り、巌有れば必ず瀑有り、全嶺にして七十瀑。地有れば泉有り、泉有れば必ず熱有り、全村にして四十五湯。猶数ふれば十二勝、十六名所、七不思議、誰か一々探り得べき。
（尾崎紅葉『金色夜叉』より）
塩原温泉の魅力を教えてくれる一節でもあります。

■徳冨蘆花文学碑

明治30年10月に塩原を訪れ、秋の紅葉、箒川の渓谷美を「自然と人生」に著しているが、この碑文も、同旅行で書かれた『青蘆集』の中の一節である。「八汐咲く春美しく　月白く風青き夏の塩原　住むに妙なれども観るべきは秋に候　宮女の襟の如くに重なりし山又山　黄に紅に染まりて…盡く錦に入るは此時に候」と秋の美しさを表している。

■幸田露伴文学碑

幸田露伴は、尾崎紅葉と「紅露時代」を築き、塩原へは五度訪れている。碑文は、「楢山の茂みの中に白雲のたもとほるごとさける山桑」という歌で、満寿家所蔵の直筆の色紙から取ったものである。

滝巡り

■回顧の滝

塩原十名瀑の一つであり、奥蘭田の『塩渓紀勝』に「回顧橋に抵る…水声の澎湃たるを聞く。而して回顧すれども滝を見ず…下橋を回顧すれば即ち瀑布橋底に瀉ぐ。直下三十余丈恰も水晶の簾を垂るゝか如く…回顧して始めて瀑を見るの義に取れるなり。」とある。回顧の吊橋を渡ると、観瀑台から約60mの名瀑を見ることができる。

■不動滝

回顧橋の手前の古道を右に入ると、ほんの40～50m先に思いがけない爽やかな滝がある。清らかで涼しげな滝の辺に不動を現したものと思われる梵字の石碑が建ち、かつては、その横に不動明王の像が奉られていた。

■梵天滝

不動滝を渡り、更に古道を進むと30～40m先に、「こんな近くにこんな名瀑が」と思わせる爽やかな、心洗われるような滝がある。修験者が流れ落ちる滝を幣束とし、水垢離や祈祷をした姿が浮かぶような滝である。なお、浪漫街道からも注意して見れば木の間ごしに見ることができる。

■連珠の滝

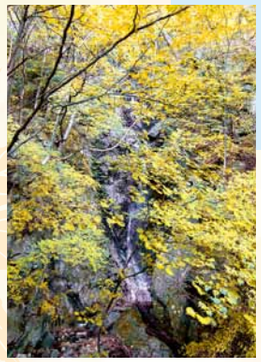
仙髯の滝から100mくらい進み、旧道を入ったところに徳冨蘆花の文学碑がある。その前を右に大きくカーブした奥に連珠の滝がある。静かに流れ落ちる様子は、珠を連ねたようだということからこの名が付けられた。水量は多くないが、いつも涼しい空気がたちこめ散策の途中で小休憩をとるのによい場所である。

■冷々の滝

連珠の滝から400～500m進み、旧道が崖側にふくらんでいる所に橋の残がいがあり、のぞいてみると「冷々の滝」と書かれている。滝と呼ぶにはおこがましげなか細い滝であるが何ともゆかしい趣のある滝である。しかし、そのイメージからは想像できないような「毒水沢」という恐ろしげな旧名をもっている。

■仙髯の滝

浪漫街道本道に静かに流れ落ちる繊細な滝であり、仙髯とは、仙人の髯の意味である。道路から滝の下へは2～3mで、容易に下りられる。水に親しんだり、滝を背にしてあたかも滝に打たれているかの如き写真を撮ったりして楽しむこともできる。



■猿臂の滝

猿岩トンネル手前右の岩上から落ちている滝を猿臂の滝という。弘法大師が塩原に向かう途中、猿たちが悪さを働いてきたので、呪文とともに岩にしてしまった。さらに、持っていた錫杖を投げ上げると、刺さった所から水が湧き出し滝となった。岩となった大猿の臂の辺りから落ちていることから猿臂の滝と呼ばれている。旧名は「猿沢滝」。

■留春の滝

晩春の頃から雪解け水を得て滝となった留春の滝であるが、「現在は水が涸れることはない」と説明されている。本来の留春の滝は、猿岩トンネルを出た北側にあったが現在は年間を通して涸れた状態である。なお、現在の留春の滝は、『塩渓紀勝』に「又瀑あり渓を隔てて落つ、遠明と曰う。」とあるように、「遠明の滝」であったと思われる。

吊橋巡り

■留春の吊橋と遊歩道

留春の吊橋から見る箒川の渓谷美は、留春の滝と共に四季を通して美しく、墓石園地から猿岩までの遊歩道（回顧コース）の中でも一、二の絶景である。なお、遊歩道は、アカマツやモミの原生林や広葉樹の中を、登山気分を味わいながら歩けるコースである。

■もみじ谷大吊橋 ※付近にある吊橋

塩原ダムに架かる本州最長（全長320m）の無補剛桁歩道吊橋。きらきらと光る湖面の上を、新緑や紅葉、雪景色を眺めながら空中散歩を楽しむことができます。

※付近にある吊橋

■回顧の吊橋

昭和62年（1987年）に完成した全長100m・高さ約30mの吊橋です。数多くある塩原の吊橋の中でもその高さと眺めは随一です。遠く、もみじ谷大吊橋を眺めることができます。

「文学散歩」のご案内（無料）

- 4月23日(土)～11月27日(日)までの予定
  - 4/23、30　5/7、14、21の各土曜日
  - 10/22、29　11/5、12、19、26の各土曜日
- 塩原文学研究会の会員による案内（無料）
- 参加希望者は ☎0287-32-4000まで

JRバス時刻表

下り

那須塩原駅	西那須野駅	回顧橋	回顧園地	連珠の滝	塩原温泉BT
11：00	11：23	11：49	11：49	11：50	12：06
11：50	12：13	12：39	12：39	12：40	12：56
12：40	13：03	13：29	13：29	13：30	13：46
13：55	14：18	14：44	14：44	14：45	15：01
15：00	15：23	15：49	15：49	15：50	16：06

上り

塩原温泉BT	回顧橋	西那須野駅	那須塩原駅
9：30	9：44	10：15	10：35
10：35	10：49	11：20	11：40
11：20	11：34	12：05	12：25
12：35	12：49	13：20	13：40
13：25	13：39	14：10	14：30

注意　「回顧園地」・「連珠の滝」バス停は、下りのみの路線のバス停となっております。

※上記時刻の他に、1時間毎に1便運行しています。詳しくはジェイアールバス☎0287(36)0109までお問い合せください。